



磐田市立 豊田中学校
第1学年だより
No.41
平成30年1月19日発行

1/11 (木) 学力診断調査への取り組みは、いかがだったでしょうか。



診断結果を参考にして、

早期発見・早期治療



学力診断調査に向けて、いかがだったでしょうか。社会科授業で解答用紙を返却する時に、以下のような話をしました。

擦り傷したら、洗浄します。そうしなければ、膿みます。膿んだら、消毒して手厚い手当が必要で。そうしなければ、悪化して発熱など他への悪影響が出る場合があります。ずっと手当しなければ、手術、入院するかもしれません。

これらを学習に置き換えてみましょう。わずかでも分かりずらくなったら、授業後や昼休みに教科担任に質問したり、生徒同士で教え合ったりします。家庭では授業ノートやワークで復習します。適切な手立てが必要になりますね。

学習診断調査を機会にして、お子さんが自分の何かを成長させようとしていることを期待しています。その背中を押したくなります。「やりぬく力」「かなえる力」を育てるために、一緒に応援してみましょう。以下、学習委員のコメントを掲載します。

学年末テストは、2月15日(木)です。



----- 工夫することで、内容を濃く ... 村松 夏希 (1-1) -----

私は普段から授業と復習を大切にしています。授業では、先生の話をしっかり聴き、ノートの書き方を工夫することで、家庭で復習するときの内容の濃い学習になるように心掛けています。今回のテストでは、毎日の積み重ねが大切だと思いました。学年末テストでは、もっといい点数がとれるように、毎日コツコツと内容が濃い学習をしていきたいです



----- 復習してきてよかったです ... 中野 蒼 (1-4) -----

学力診断調査では、前回までのテストで不正解だった問題を解くことができました。今までの学習内容やワークなどを復習してきてよかったです。もっと正解できる問題を増やしたいです。今後も復習して、今回のテストで間違えた問題をしっかりできるように取り組みたいです。



【連絡事項】

- ・今回の学力診断調査は、生徒それぞれの学習内容の定着度を確認するためのものです。平均点や度数分布表などをお知らせしていません。そのため、テスト結果連絡票には素点のみを記載しています。
- ・本日、文書「進路希望調査の実施について」と、進路の手引き「未来へ向かって」を配付いたしました。進路の手引きを参考にしながら進路希望調査に記入していただき、学級担任に1月29日(月)までに御提出ください。

裏面、教科担任からのコメント掲載。お子さんが自分を成長させるヒントになります。



【国語】 ①放送問題では、問題用紙に問題文が書かれていません。問題文が放送されたら、まずはメモしましょう。例えば、問三「山本先生の心配は、**どんなことですか。**」と問われているので、解答の文末は「～こと。」で終わるべきです。文末処理が甘い解答がありました。②漢字問題では、**「難易」を書く問題の正答率が、とても低かった**です。家庭学習として書き取り練習では、直しまでしっかり取り組むことは勿論、日常的に漢字を使用する習慣をつけましょう。③問題三の問三、**文節**の問題の正答率も低かったです。文節の区切りに、「ね」や「さ」を入れると、分かりやすくなることがあります。例えば、「繰り返し**ね**/ながら**ね**」すると、「ながらね」が不自然で、ここでは区切れないことが分かります。教科書の練習問題で復習しましょう。④作文問題では、「口語表現であるために減点」という解答が多く見られました。「〇〇**って**書いて**あって**」を書き言葉にすると、「〇〇**と**書いて**あり**」となります。「**だけど**/**けど**」ではなく「**けれども**」です。「**なので**」は文頭に使いません。自分が書いた作文を正しく書き直してみましょう。

【社会】 ①**【地理】** オーストラリア大陸・インド洋、ヨーロッパ連合、サハラ砂漠、**【歴史】** 猿人、シルクロードなど、**高い正答率**でした。授業やワーク、中間・期末テストなどで努力してきた成果でした。②社会科を「重要語句を暗記すればよい」と考えてしまうと学力向上に限界があります。もちろん暗記も必要ですが、「**資料を読み取ったり、学んだ知識を活用して思考したり**する」ことが大切です。説明文で解答する問題にも、苦手意識がない生徒が多く、よかったです。③同日程だった**2年生の問題には、【地理】** ASEANの影響、アメリカ企業のインド進出理由、EUの問題点、**【歴史】** たて穴住居、邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送ったこと、奈良時代の調、執権、六波羅探題の設置目的などが出題されていました。どれも1年生で学習済み内容です。④**自主勉強ノート（授業ノートを活用）をおすすめ**しています。提出日はなく、個人的に提出します。提出規定ページもありません。

【数学】 計算問題は、どの問題も基本的な問題でした。間違いやすいところについてテスト返しの時にも解説しましたが、もう一度確認しましょう。①「 -3^2 と $(-3)^2$ の区別」や「 $b=-3$ のときの b^2 の値」②()の前に符号や数があるときの()の外し方と、外したあとの項の入れ替え、③方程式で移項するときの符号の変化、④小数の方程式の解き方や、小数計算、⑤分数の約分など、ミスが目立ちました。
また、正の数と負の数の差、比例定数やyの値、反比例のグラフなどは、練習してあげられる問題でした。文章問題では、文中の言葉についてよく考えましょう。今回のテストでは、「おつりがきた」「花壇に植えるビオラは何株(1列目だけ?)」「3つの〇〇を利用して」など、よく考えるとよかったですと思います。
定期テストとは違う傾向の問題があり、戸惑った人が多いと思いますが、基礎問題集や復習ノートプリントでしっかり練習しておきましょう。



【理科】 全体に基礎・基本的な内容でした。授業中に「大事だよ!」と強調した部分が出題されています。教科書の太文字語句だけでも20点近くは取れました。1(1)作図は高い正答率でしたが、正確性に欠ける解答もありました。例えば、光の通り道しか書いていない、像しか書いていないという誤答例がありました。問題文を正確に読み取りましょう。
5(2)のように実生活と結び付いた出題が、今後は増えます。授業で学んだことが日常生活と、いかに関わっているかについて考えることも大切です。



【英語】 放送問題では、大変よくできていました。要点を聞き取って、必要に応じてメモを取りながらテストに取り組みると、よりよい結果がでると思います。
筆記問題については、例年と同じような問題が出題されました。特に、自分や他人のことについて書く問題では、キーワードとなる英単語、一般動詞等をしっかりと読み取り、練習してきたことを生かして、精一杯英文を書こうと努力をしていました。今後、英単語を正確書けるようにライティングノートを使って、日々繰り返し頑張りたいところです。
また、be 動詞を使うべき解答で一般動詞を使ってしまったり、その逆をしてしまったりする誤答が多かったので、もう一度一般動詞と be 動詞を活用する場面を使い分けられるように、丁寧に復習をしていきましょう。